

第 37 回クラシックを楽しむ会

2016 年 10 月 16 日（日）18:00～（2 時間 22 分、休憩除く）

タイトル：歌劇「ナブッコ」(ヴェルディ)

会場等：メトロポリタン歌劇場

2001 年 4 月 6 日

楽団等：メトロポリタン歌劇場管弦楽団、
同合唱団

指揮：ジェイムズ・レヴァイン

演出：イライジャ・モシンスキー

出演：ファン・ポンス（ナブッコ）

マリア・グレギーナ（アビガイッレ）

サミュエル・レイミー（ザッカリア）

ウェンディ・ホワイト（フェネーナ）

グイン・ヒューズ・ジョーンズ（イズマエーレ）



ファン・ポンス



マリア・グレギーナ



第 3 部、望郷の合唱「行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って」の場面

ものがたり

新バビロニア王ネブカドネザル 2 世が紀元前 586 年にユダ王国の都エルサレムに侵攻してユダ王国を滅ぼし、1 万人を超えるヘブライ人を捕虜または奴隷としてバビロンに強制連行した歴史的事実「バビロン捕囚」と旧約聖書の物語に基づいて創作された。

みどころ聴きどころ

第 3 部第 2 場、バビロニアに囚われ、ユーフラテス川の岸辺で鎖につながれたヘブライ人達が望郷の念を歌う合唱「行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って」はイタリアの第 2 国歌とされ、イタリア以外でも公演中にアンコールされるほどの名曲である。

第 38 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「真珠採り」(ビゼー)

11 月 20 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

ナディールのアリアはテノールの名曲として有名で、その旋律は「真珠採りのタンゴ」で一世を風靡した。

ヴェネチア・マリブラン劇場 2004 年の公演、ヴィオットティ指揮フェニーチェ歌劇場管弦楽団をお楽しみに。

12 月以降、バレエ「くるみ割り人形」、「ボエーム」、「ドン・ジョバンニ」、「トゥーランドット」などを予定。

あらすじ

【時と場所】

紀元前 586 年頃、エルサレムおよびバビロン

【主要人物】

ナブッコ (バリトン)	バビロニアの王
アビガイッレ (ソプラノ)	ナブッコが女奴隷に生ませた王女 (長女)
ザッカリア (バス)	エルサレムのソロモン神殿の大祭司
イズマエーレ (テノール)	ヘブライ王の甥、フェネーナと恋仲
フェネーナ (ソプラノまたはメゾソプラノ)	ナブッコの王女 (次女)、イズマエーレと恋仲

【第 1 部】「エルサレム」ソロモン神殿の中

バビロニアの王ナブッコとその王女アビガイッレ率いるバビロニア軍のエルサレム総攻撃に、エルサレムのヘブライ人たちは怯えている。大祭司ザッカリアはナブッコの王女フェネーナを人質にしているから心配ないとヘブライ人達を安心させる。実はその人質フェネーナとヘブライ王の甥イズマエーレは恋仲。アビガイッレはイズマエーレを誘惑しようとするが拒否される。

ナブッコがソロモン神殿に迫り、ザッカリアはフェネーナを殺そうとするがイズマエーレに阻止されて失敗。ナブッコは神殿とエルサレムの町の破壊を命じ、ヘブライ人をバビロニアに連行する。

【第 2 部】「邪悪」

第 1 場 バビロンの宮殿の一室

アビガイッレは自分が女奴隷の子であることを知り、父ナブッコが妹のフェネーナに王位を継がせようとしているのを知って嫉妬。バビロニアの神官たちもアビガイッレに王位を継がせようと画策する。

第 2 場 バビロンの宮殿の大広間

ザッカリアは破壊されたソロモン神殿と祖国の復活を祈り、ユダヤ教に改宗したフェネーナとイズマエーレをかばう。アビガイッレとバビロニアの神官たちが現れてフェネーナから王冠を奪おうとする。そこに死んだはずのナブッコが登場、傲慢にも「自分はただの王ではない今や神だ」と豪語した途端、神の怒りに触れて発狂する。そして王冠はアビガイッレが手に入れる。

【第 3 部】「預言」

第 1 場 バビロンの空中庭園

アビガイッレは今や玉座に座り、ヘブライ人達を死刑とする命令書を作成してナブッコに押印を強要。ナブッコはユダヤ教に改宗した実の娘フェネーナも死刑になることを知って命令の取り消しを懇願。

第 2 場 ユーフラテス河畔

ユーフラテス河畔で、ヘブライ人たちが祖国への想い「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」を歌う。ザッカリアは人々を勇気づけ、祖国の勝利とバビロン滅亡を予言する。

Cantabile tutti sotto voce

Three staves of musical notation in G major, 4/4 time. The first staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The second and third staves have a bass clef. The lyrics are written below the notes.

Va, pen - sie - ro, sul - l'a - li do - ra - - te; Va, ti
po - sa sui cli - vi, sui col - li, O - ve o - lez - za - no te - pi - de e
mol - - li L'au - re dol - - ci - del suo - lo - na - tal!

合唱「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」の冒頭

【第 4 部】「偶像破壊」

第 1 場 バビロンの宮殿の一室

ナブッコはヘブライの神エホバに許しを請い、忠臣たちがナブッコの監禁を解く。正気にもどったナブッコはフェネーナの救出と王位奪回を誓う。

第 2 場 バビロンの空中庭園

フェネーナとヘブライ人たちが処刑のため祭壇に引き出される。突然ナブッコが駆けつけて、祭壇の偶像破壊を命令すると偶像はひとりでに崩壊。一同奇蹟に驚きエホバの神を讃え、ナブッコはヘブライ人たちの釈放と祖国への帰還を宣言する。毒をあおったアビガイッレが連れ出され、ナブッコとフェネーナに許しを乞いつつ息絶える。ザッカリアはナブッコを「王の中の王」と讃える。

ナブッコが活躍した時代

新バビロニア王国

オリエント世界を統一したアッシリアに支配されていたバビロニアの王ナボポラッサルが B.C.612 年に隣国のメディア王国と協力してアッシリアを滅ぼして新バビロニア王朝を築いた。その息子の**ネブカドネザル 2 世**がこのオペラの主人公**ナブッコ**である。ナブッコとはネブカドネザルのイタリア語の俗称。

ユダ王国

イスラエル王国（ヘブライ王国）が分裂した後の南部の王国で都はエルサレム。前 586 年に新バビロニアの**ネブカドネザル 2 世**に滅ぼされた。イスラエル王国の**ダヴィデ王**、その子**ソロモン王**のユダ一族の王位を継承したのでユダ王国と呼ばれる。

バビロン捕囚

新バビロニア王**ネブカドネザル 2 世**が B.C.586 年にユダ王国の都エルサレムに侵攻してユダ王国を滅ぼし、1 万人を超えるヘブライ人を捕虜または奴隷としてバビロニアの都バビロンに連行した。これを「バビロン捕囚」と呼ぶ。ネブカドネザル 2 世の死後まもなくの B.C.539 年に新バビロニアはアケメネス朝ペルシアに征服され、ヘブライ人は捕囚から数十年後に故国に返された。

ソロモン神殿

B.C.10 世紀にイスラエル王国のソロモン王がエルサレムに建設したヤハウエ（エホバ）を祭る神殿をソロモン神殿と呼ぶ。**ネブカドネザル 2 世**がユダ王国を滅ぼしたときエルサレムの町とこの神殿を破壊した。

バビロンの空中庭園

ネブカドネザル 2 世は王妃のために、故郷イラン高原の山を模した巨大な庭園をバビロンに建造したとされる。古代の「世界の七不思議」のひとつで庭園が空中に吊下げられているように見えたという。現在のバクダッド近郊にそれらしい遺跡が残っている。なお、右の図は当時のアッシリアの都ニネヴェ遺跡で見つかったレリーフで、空中庭園の樹木に散水するための水道設備とされる。



レリーフに描かれた空中庭園の水道設備

ヴェルディの生家



GoogleMap から 中央の建物がヴェルディの生家、生家のすぐ手前に右写真の教会がある



サン・ミケーレ教会と鐘楼

ヴェルディは 1813 年にイタリア北部の小さな町**ブッセート**近郊パルマ-クレモナ街道筋の小村ロンコーレ村の飲食店兼旅籠屋に生まれた。敗退したナポレオン軍の後、侵入したオーストリア帝国軍による略奪、陵虐を避けるため、彼の母親は乳飲み子のヴェルディを抱えてすぐ近くの教会の鐘楼に隠れた。その後のナブッコ初演当時も祖国統一の武力闘争とオーストリア帝国による弾圧の時代が続いていた。このオペラは独立と平和を希求するイタリア人の強い共感を生んだ。



ネブカドネザル 2 世